

Technology to Inspire Innovation

**2016年度決算及び
2017年度業績見通し
説明会**

2017年4月26日

6807 日本航空電子工業株式会社

I. 2016年度決算

II. 2017年度業績見通しと経営戦略

I . 2016年度決算

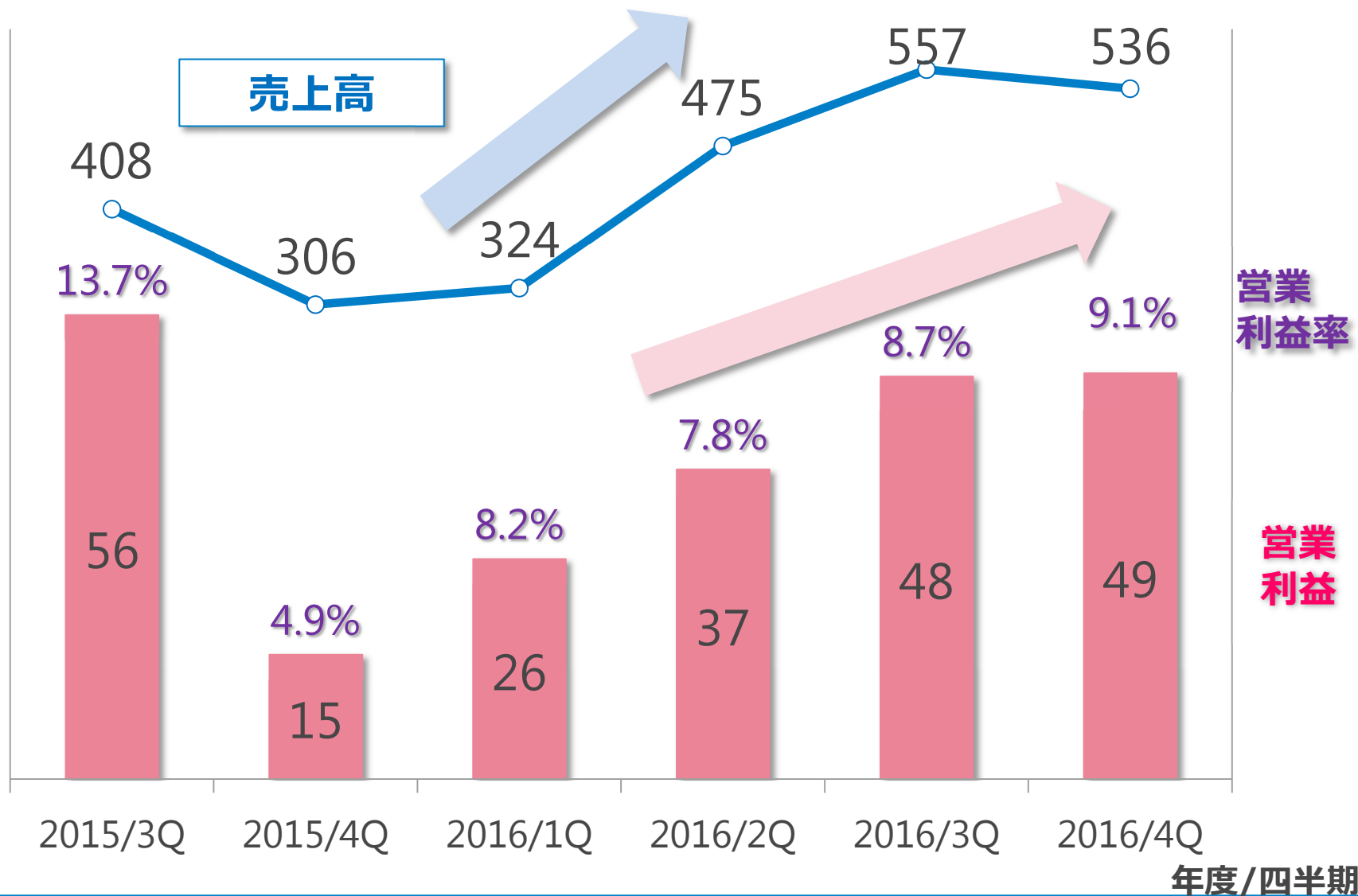
(2016年4月～2017年3月)

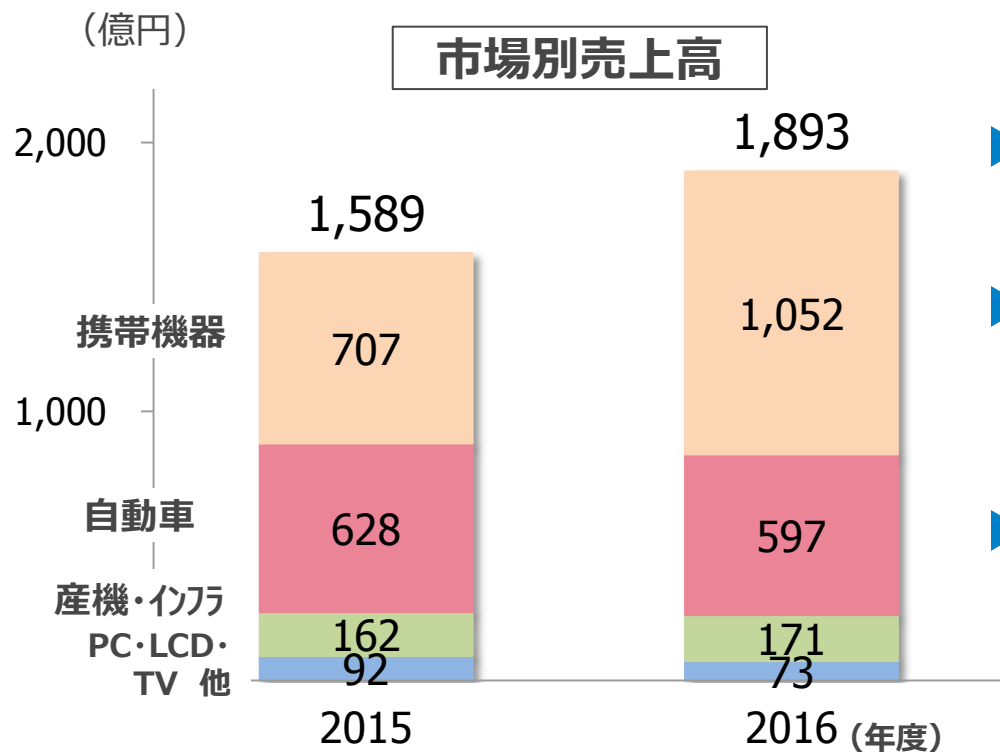
※ 本資料では、原則として金額は億円単位に四捨五入しておりますので、個別数値と合計値・増減額が一致しない場合があります。

億円	2015年度			2016年度			前年比		2016年10月 予想値
	上期	下期		上期	下期				
売上高	971	824	1,795	899	1,196	2,095	(億円) 300	(%) 117%	(億円) 2,070
営業利益	124	55	179	41	79	121	-58	67%	125
対売上比	12.8%	6.7%	10.0%	4.6%	6.6%	5.8%			
経常利益	115	54	169	26	65	92	-77	54%	100
対売上比	11.9%	6.6%	9.4%	2.9%	5.4%	4.4%			
純利益	85	40	125	21	46	67	-58	54%	75
対売上比	8.8%	4.9%	7.0%	2.3%	3.9%	3.2%			
設備投資	97	127	224	120	97	217	-7		
償却費	89	90	179	88	109	197	18		(固定資産の除却含む)
為替レート (円/US\$)	121.9	118.4	120.2	105.2	111.5	108.3	(期中平均)		

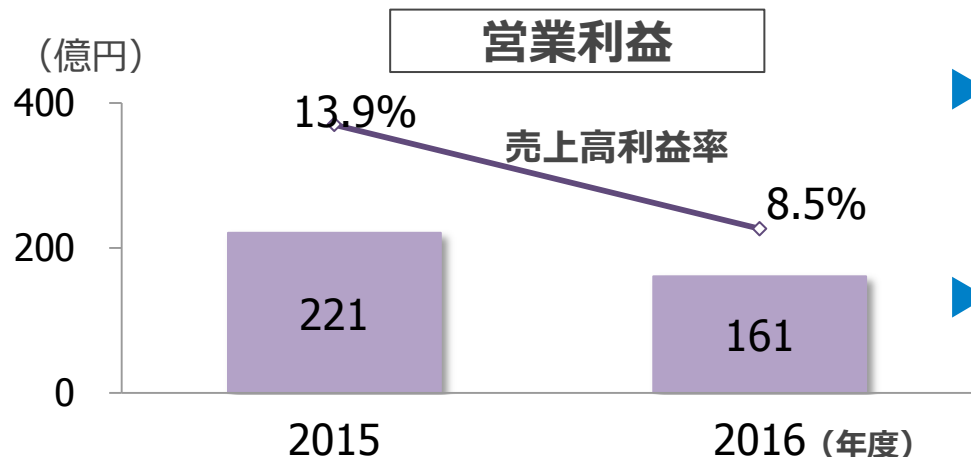
コネクタ事業：四半期別売上・利益推移

(億円)

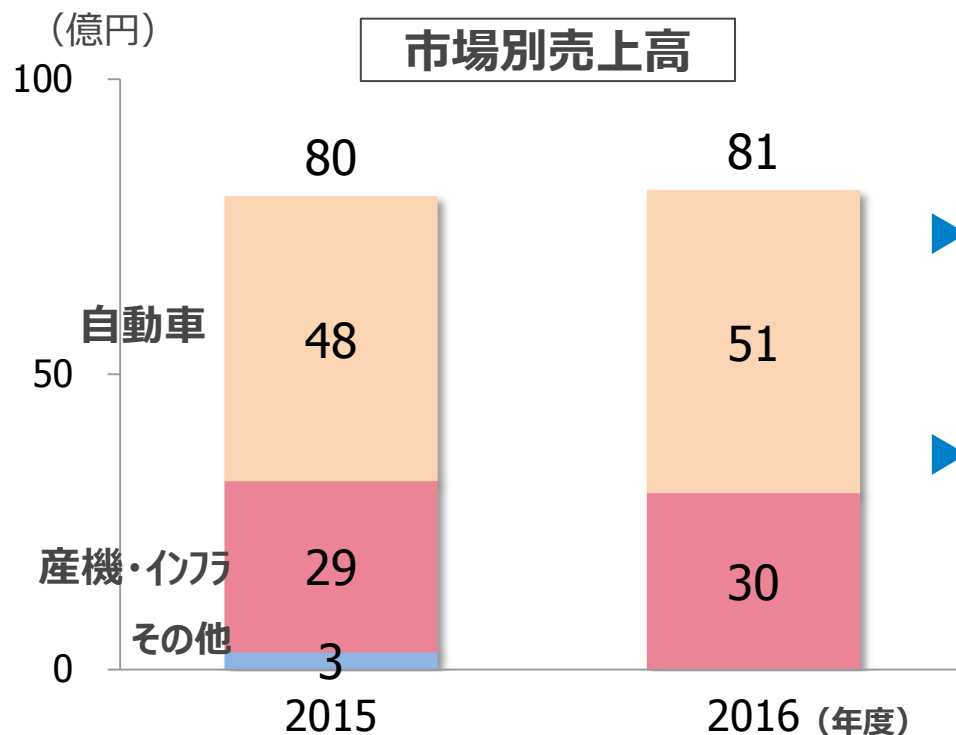




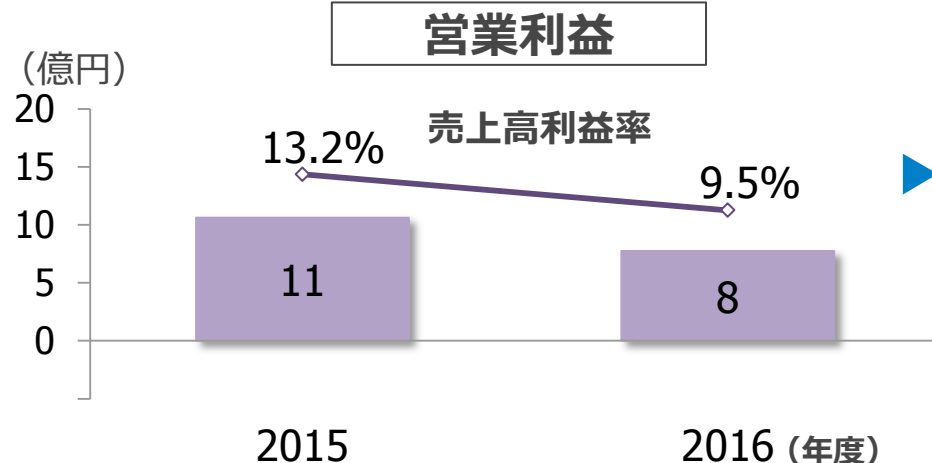
- ▶ **携帯機器**
新製品が立上り、大幅に拡大
- ▶ **自動車**
為替影響および一部地域の需要減があったものの回復方向
- ▶ **産機・インフラ**
国内FAメーカーを中心に需要が回復



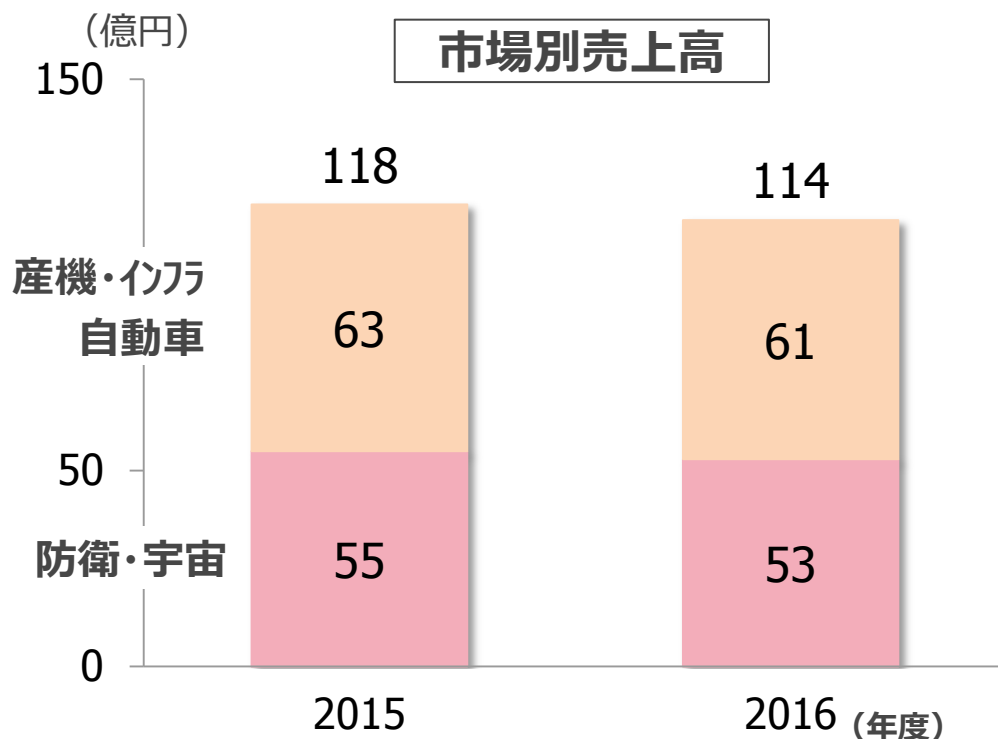
- ▶ 上期は新製品立上費用が増加したが、下期には生産性改善により利益額・利益率ともに改善
- ▶ 外部購入部品の多い製品の売上増加により、売上高利益率は低下



- ▶ **自動車（車載タッチパネル）**
新規採用車種の端境期、および為替影響により微増にとどまる
- ▶ **産機・インフラ**
重点顧客への拡販を進めたものの、所要は弱く概ね横ばい



- ▶ **次世代製品向け設備投資により前年比減益となったが、計画値は達成**

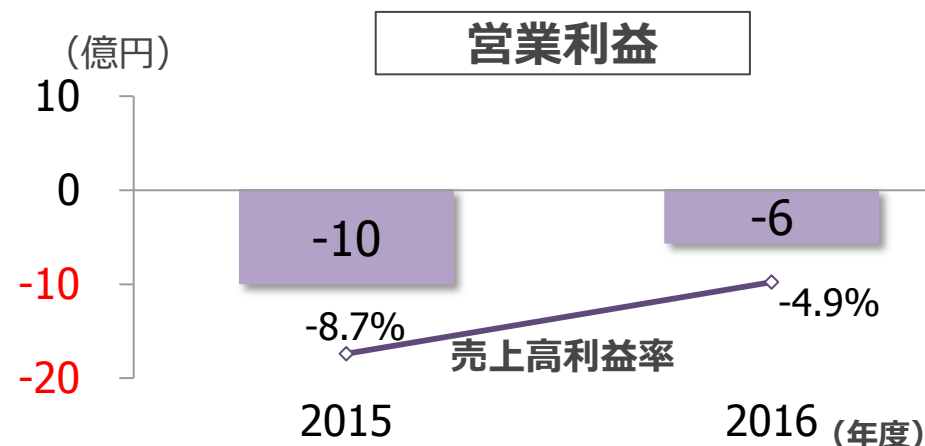


▶ **防衛・宇宙**

防衛予算（国産品調達）伸び悩みにより年間で前年比減

▶ **航空機・インフラ・自動車**

油田掘削向けセンサは、市況回復に遅れ
半導体露光装置向けリニアモータは顧客の不振により停滞



▶ 売上高の計画未達により年間赤字継続

▶ 生産性改善などにより赤字幅は縮小（4Qは黒字復帰）

- ▶ 携帯機器向け新製品などの寄与で、大幅に売上増
- ▶ 上期に新製品立上げのもたつきがあったものの、
下期には利益は着実に改善
- ➡ 2017年度は利益改善の継続、予想値必達を最優先
- ▶ 2017年1月にNECによるTOB完了（NEC持分 50.77%）
中期的なシナジー実現に向けて具体的な協議を開始

Ⅱ. 2017年度業績見通しと経営戦略

(2017年4月～2018年3月)

▶ 事業環境

- 緩やかな景気回復を見込むものの、不確実性は増大
- 自動車の電装化、携帯機器の機能進化の継続に加え、産機・インフラ市場は回復の見通し



▶ 重点戦略

- 重点3市場での製品の開発・市場投入と拡販
- 開発・生産・調達の改革、コストダウンによる利益基盤強化
- 中期的な成長に向けた先行技術開発

2017年度業績見通し

	2016年度			2017年度予想					
	上期	下期		上期予想	前年同期比		通期予想	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
売上高	899	1,196	2,095	1,200	301	134%	2,300	205	110%
営業利益	41	79	121	80	39	193%	160	39	133%
対売上比	4.6%	6.6%	5.8%	6.7%			7.0%		
経常利益	26	65	92	70	44	265%	140	49	153%
対売上比	2.9%	5.4%	4.4%	5.8%			6.1%		
純利益	21	46	67	50	29	238%	100	33	148%
対売上比	2.3%	3.9%	3.2%	4.2%			4.3%		

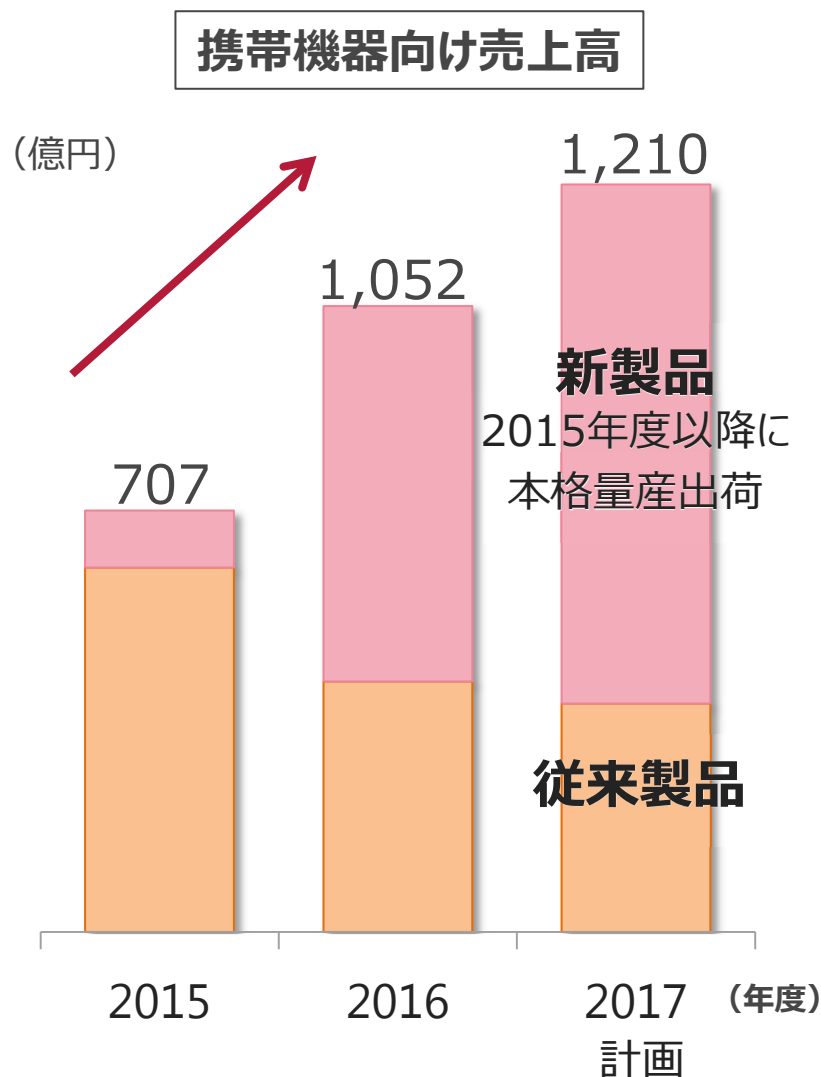
※ 為替前提（1USドル＝108円）

設備投資（年間） 200

償却費（年間） 200 （固定資産の除却含む）

	2016年度		2017年度予想					
	上期		上期予想	前年同期比		通期予想	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
コネクタ	799	1,893	1,100	301	138%	2,090	197	110%
UIS	37	81	41	4	109%	82	1	101%
航機	59	114	55	-4	94%	120	6	105%
その他	3	7	4	1	123%	8	1	114%
計	899	2,095	1,200	301	134%	2,300	205	110%

新製品の伸長と従来製品の維持による携帯機器向け売上拡大

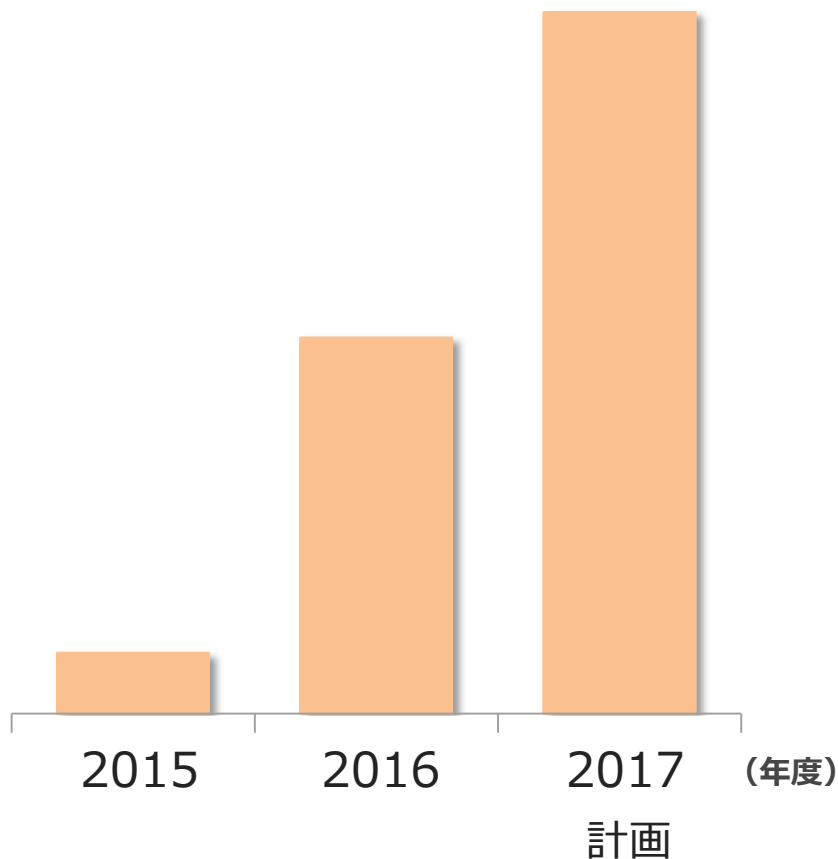


- ▶ 16年度は新製品が売上伸長を牽引
- ▶ 17年度は既に立ち上げ済の新製品が業績伸長に寄与
- ▶ 携帯機器は短いライフサイクルながら、新興国市場の拡大が従来製品の売上を支える

Type-C™コネクタ「DX07」の本格拡大

DX07シリーズ売上高

17年度 売上目標：100億円



- ▶ 市場は想定通りに拡大
⇒ 2017年のType-C搭載機器は5億台へ（2016年1億台）



- ▶ 市場ポテンシャル（数量×価格）の高い領域に注力
 - PCメーカー向けハーネス、中国スマホメーカー向けレセ等、大型案件が進行中
 - ノートPC市場での高シェアの維持と周辺機器への拡大
- ▶ 高付加価値製品のラインナップ拡充

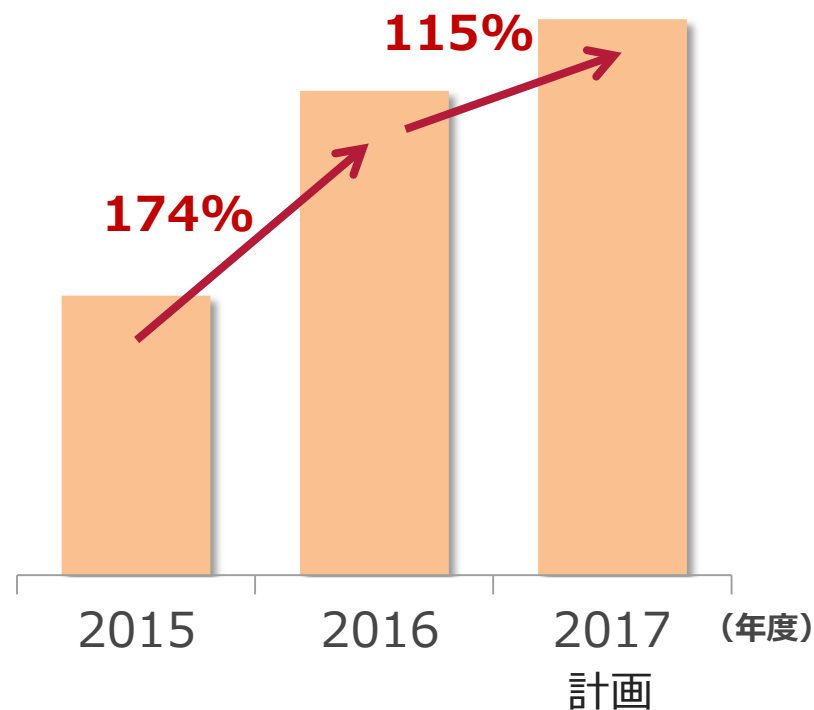
中国・新興国向けスマートフォンへの展開

- ▶ 世界のスマホ需要は、新興国市場の拡大に支えられ、14.8億台（16年）から17.8億台（19年）に成長
- ▶ 中国スマホメーカーが新興国への進出を加速



- ▶ 中国スマホメーカー向け売上は、前年度比115%の成長を計画
 - 香港・上海の技術体制を強化し、新興国向けデザインイン、技術サポートを推進
 - 大手新規顧客への拡販

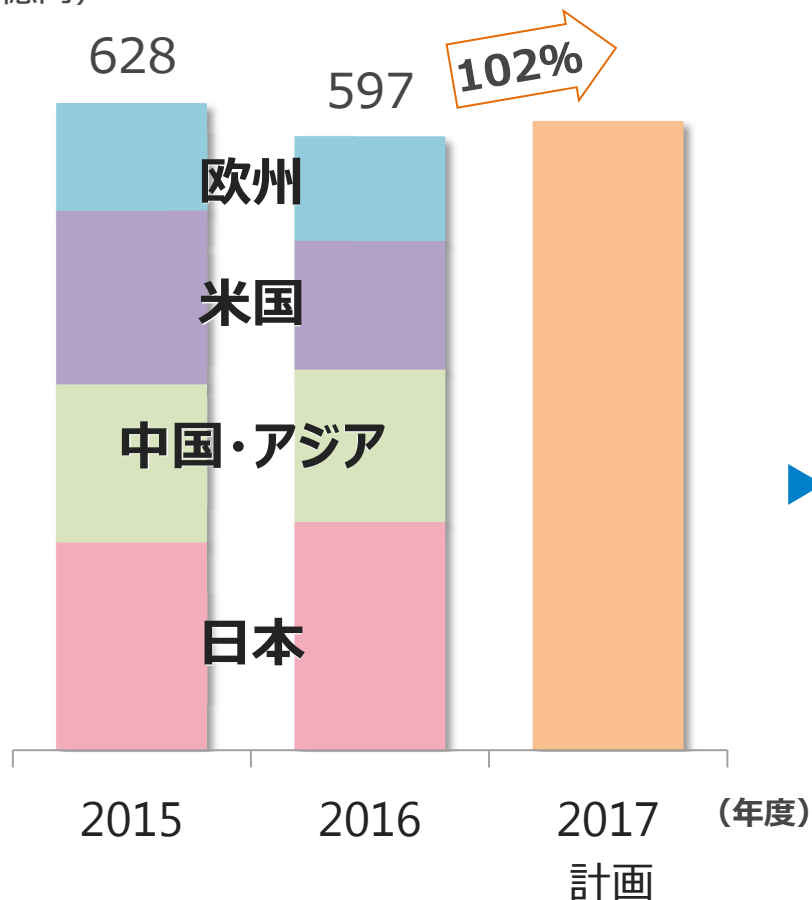
中国・新興国向け売上高



欧州・中国系自動車需要の獲得で成長に転じる

自動車向け売上高

(億円)



▶ 欧州自動車向け体制強化とリソース投入増

- 現地顧客サポートのための欧州技術人員の増強
- HQの自動車技術人員を増強し、開発・品質保証体制強化

▶ 中国ローカル自動車向けEV・環境車対応の推進

- 地場自動車会社向け技術サポート体制を香港・上海に設置

自動車ビジネス成長持続に向けたADAS製品開発の加速

▶ センシング用途の車載デジタルカメラ向けは、順調に拡大中

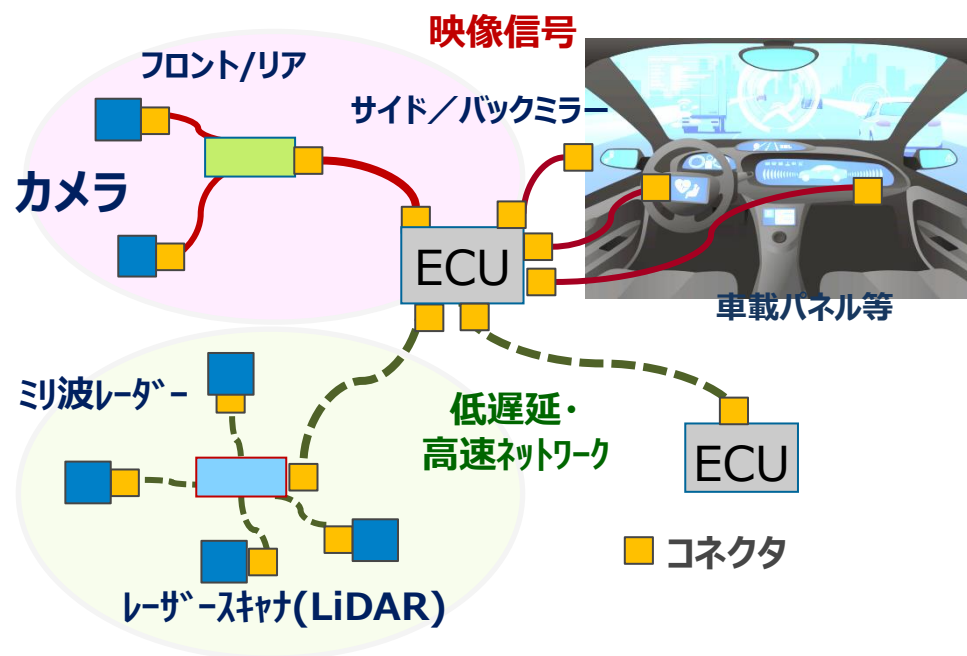
- 欧州での実績拡大をベースに、日系自動車への展開も本格化
- 17年度売上は前年度比115%成長を計画



▶ 車載デジタルカメラに続くADAS製品ラインナップ°拡充

- ADASセンシング用ミリ波、レーザ向け等
- 自動車用高速ネットワーク（LVDS、同軸、ギガビット・イーサネット）

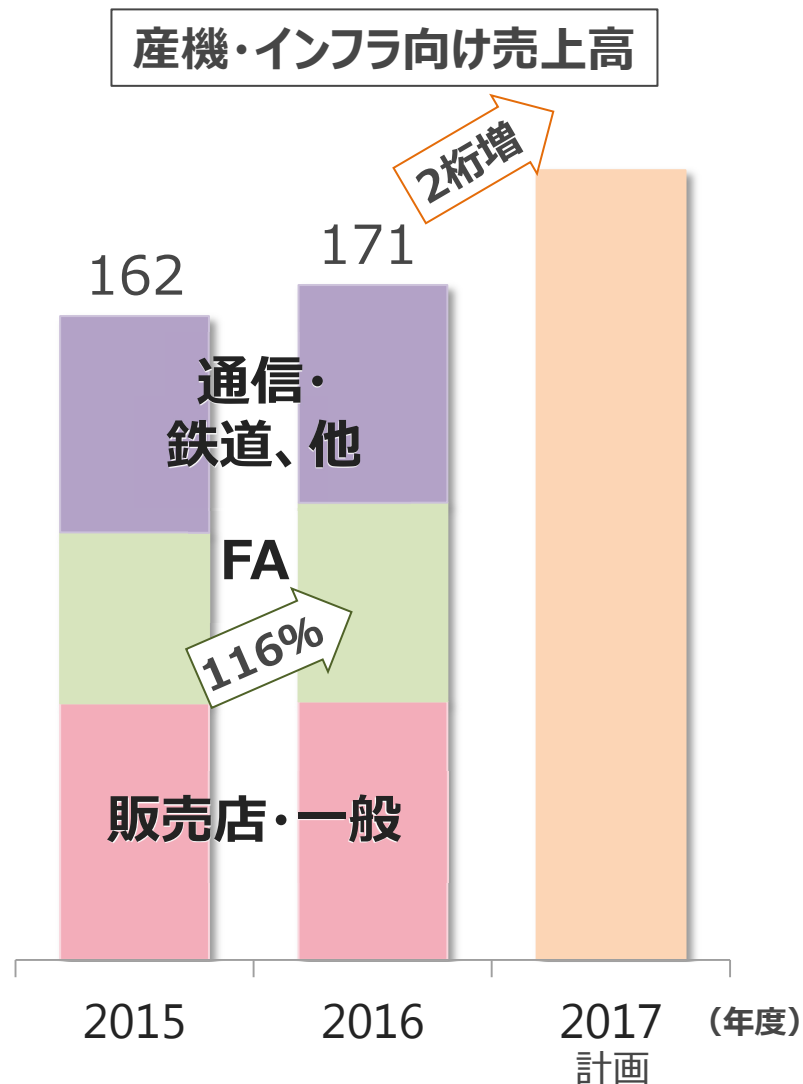
ADASセンシング



産機・インフラを第三の柱に育てる取り組み継続

- ▶ FA市場の回復を背景に拡販加速
- ▶ 汎用製品の拡販と海外市場への展開
 - 内装用コネクタ等、汎用製品の品揃え強化
 - 販売店連携、プロモーション強化
- ▶ 5G、4K・8K、データセンター、IoTなど、これから広がる市場に向けた製品開発を加速
(AOC、同軸製品など)
- ▶ 中少量生産における生産革新の継続

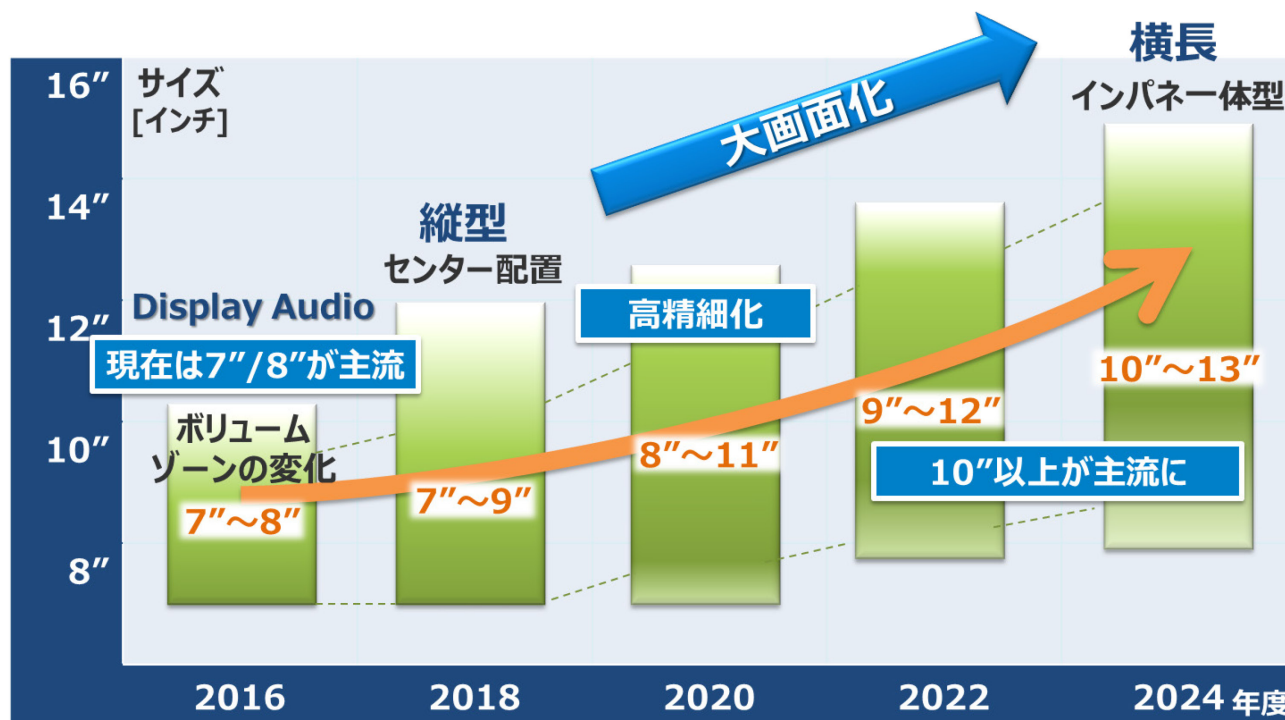
※ 5G：第五世代移動通信
4K・8K：超高精細度映像
AOC：Active Optical Cable



端境期の中、中期的成長に向けた取組みを強化

▶ 車載静電タッチパネル次世代製品の立上げ

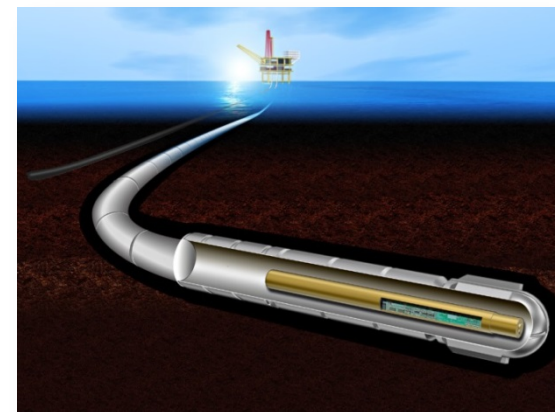
- ・ 大画面化・曲面对応・デザイン性に優れたフィルムセルタイプ[°]
- ・ 国内メーカー18年モデル向けに年度内量産開始
- ・ 18年～19年モデル向け重点商談の採用獲得



売上拡大、原価低減等により年間黒字化を目指す

▶ 油田掘削向けセンサーの売上拡大

- 市場回復の機会をとらえて
加速度計、DDMの拡販強化
(DDM: Digital Directional Module)
- DDMは前年比 2 倍以上の販売を目標



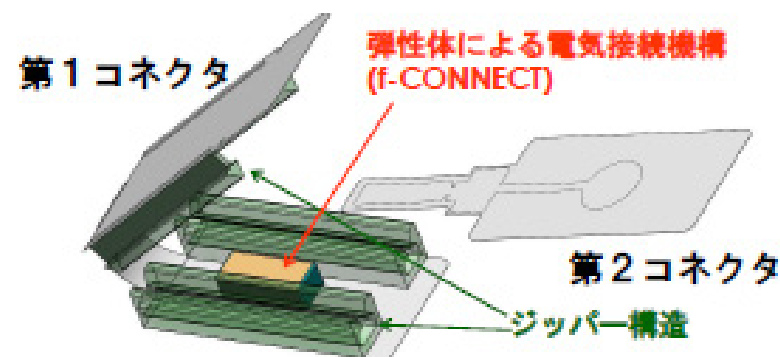
▶ 半導体製造装置向け事業の拡大 (リニアモーター等)

- 需要好調な国内顧客向け売上の拡大
- 内製拡大、コストダウンによる収益性向上

IoT時代に向けた先行技術の開発を推進

▶ ウェアラブル市場向け次世代接続方式

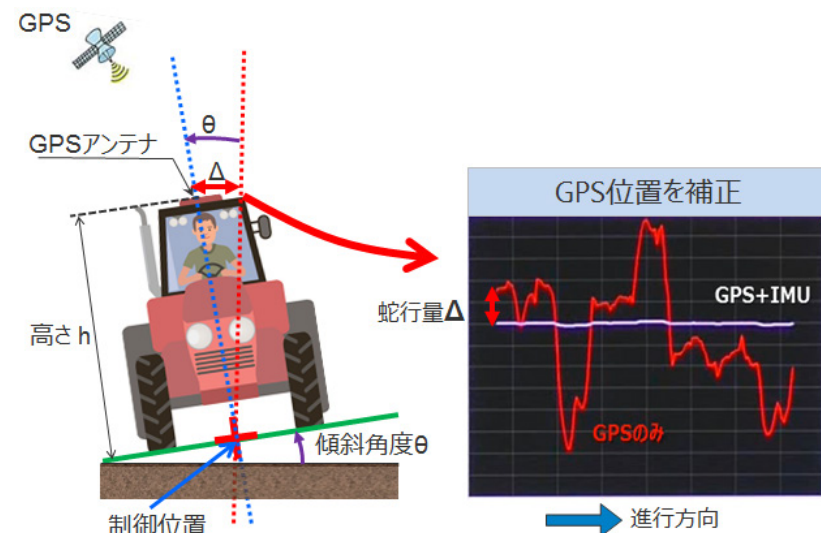
- ウェアラブル機器、スマート衣料
に向けて**ウォッシュブル、防水、
ジッパータイプ**のコネクタを開発



▶ 航機事業のコア技術を活用した小型IMU

(IMU : 慣性計測装置)

- 航空機用の高精度技術と
ソフトウェア技術の融合
- 建機や農機の無人運転に
向けて開発中



Technology to Inspire Innovation

JAE

＜注意事項＞

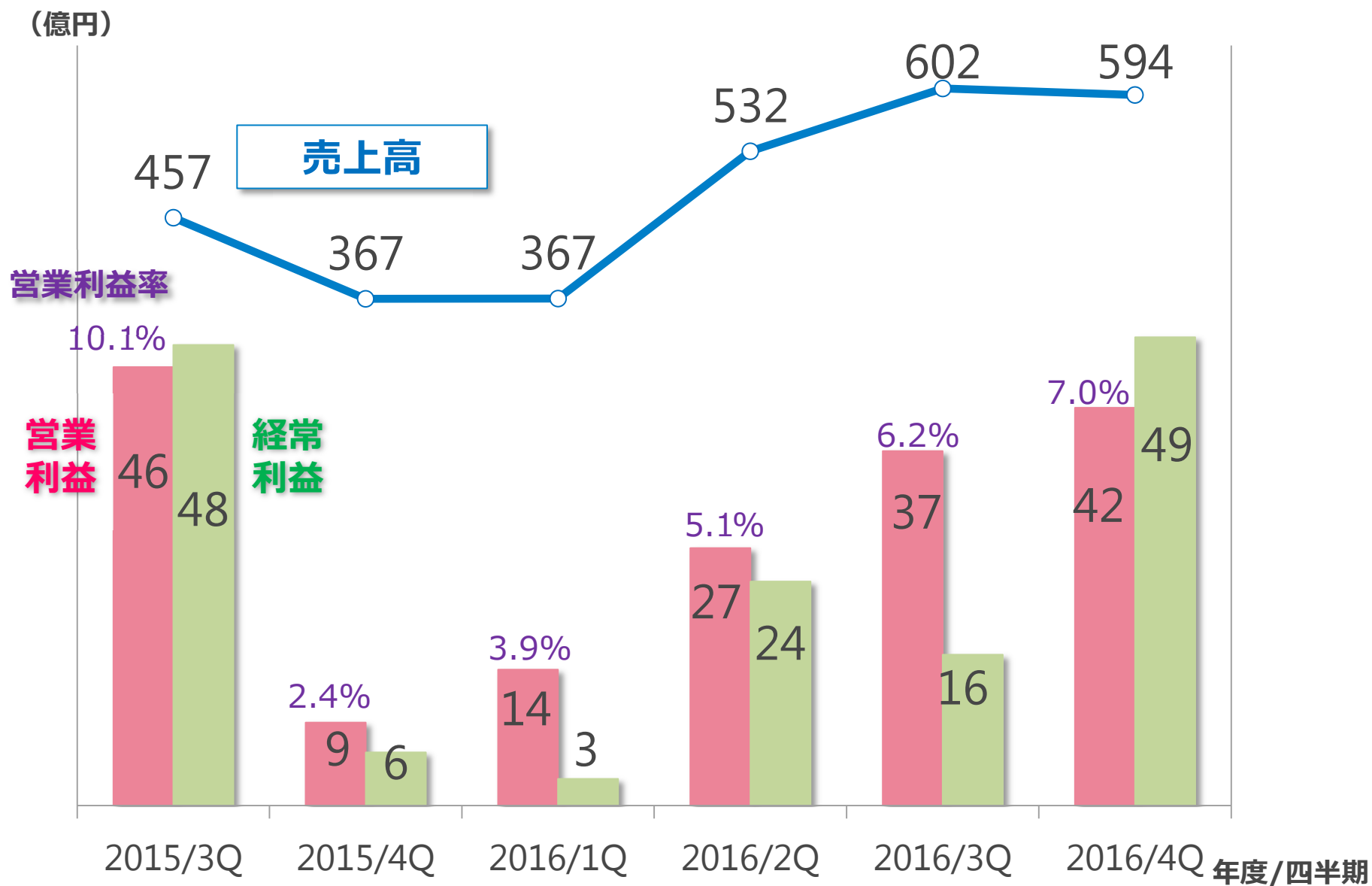
本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画、戦略および業績見通し・目標は2017年4月26日現在の予測・目標であって、リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

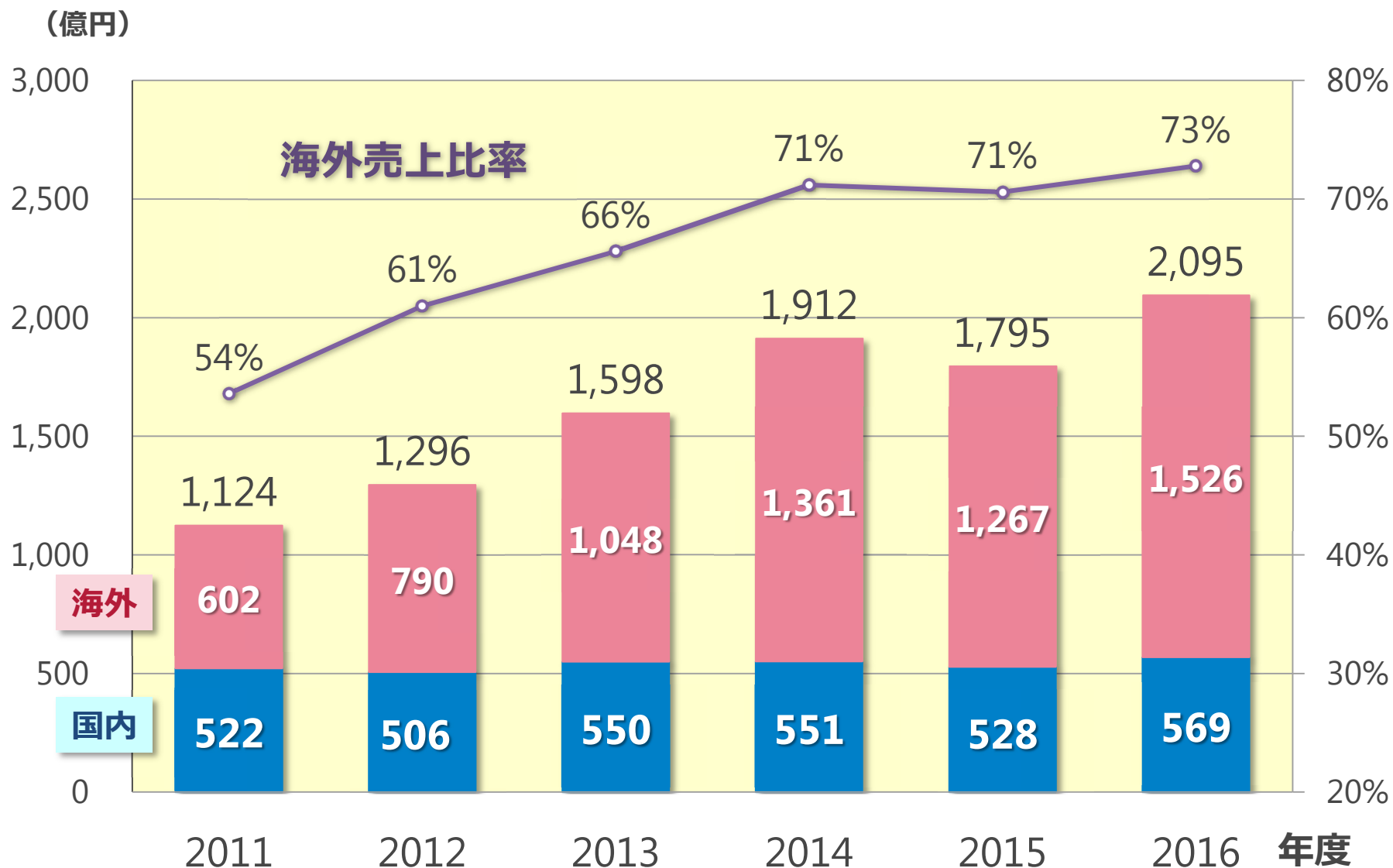
実際の業績は、様々な要因により、見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢、市場におけるJAE製品（リフト製品を含む）に対する需要変動、競争激化による価格下落圧力、および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力、海外市場における事業拡大能力、事業活動に関する法規の変更やその不透明さ、潜在的な法的責任、為替レートなどがありますが、これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかなですが、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因がある為、将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。

[全社] 四半期別売上・利益推移



[全社] 国内・海外別売上高



[全社] 市場別売上高

億円	2015年度			2016年度				2016年10月 予想値
	上期	下期		上期	下期	前年比		
携帯機器	425	282	707	395	657	1,052	149%	990
自動車	342	342	684	315	340	655	96%	670
産機・インフラ	127	119	246	123	132	255	104%	260
その他	77	81	158	65	68	133	84%	150
計	971	824	1,795	899	1,196	2,095	117%	2,070

事業部門別売上高

億円	2015年度			2016年度				2016年10月 予想値
	上期	下期		上期	下期	前年比		
コネクタ	876	714	1,589	799	1,093	1,893	119%	1,858
UIS	41	39	80	37	44	81	101%	80
航機	50	67	118	59	56	114	97%	125
その他	4	4	8	3	4	7	91%	7
計	971	824	1,795	899	1,196	2,095	117%	2,070

下段は売上高営業利益率

億円	2015年度			2016年度			前年比
	上期	下期		上期	下期		増減
コネクタ	150 17.1%	71 9.9%	221 13.9%	64 8.0%	97 8.9%	161 8.5%	(億円) -60
UIS	6 13.9%	5 12.6%	11 13.2%	4 9.8%	4 9.3%	8 9.5%	-3
航機	-8 -15.9%	-2 -3.3%	-10 -8.7%	-4 -6.8%	-2 -2.8%	-6 -4.9%	5
配賦不能 他	-23	-18	-42	-22	-20	-42	0
全社	124 12.8%	55 6.7%	179 10.0%	41 4.6%	79 6.6%	121 5.8%	-59

[全社] 市場別売上見通し

	2016年度		2017年度予想					
	上期		上期予想	前年同期比		通期予想	前年比	
		(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
携帯機器	395	1,052	670	275	170%	1,210	158	115%
自動車	315	655	330	15	105%	670	15	102%
産機・ インフラ	123	255	140	17	114%	290	35	114%
その他	65	133	60	-5	92%	130	-3	98%
計	899	2,095	1,200	301	134%	2,300	205	110%